

「水害の記憶を未来へ」～昭和61年8月5日洪水から30年～
の行事として、
「簡易アラート装置の設置検討地区住民向けの
デモンストレーション(実演会)」
を開催します。

大崎市鹿島台(旧鹿島台町)が壊滅的な被害を受けた昭和61年8月5日洪水から今年で30年を迎えることから、8月5日に鎌田記念ホールで開催する行事の一つとして、吉田川沿川の簡易アラート装置の設置検討地区住民向けの「簡易アラート装置^{*}のデモンストレーション(実演会)」を行います。

※「鳴瀬川等の減災に係る取組方針(平成28年7月5日策定)」の取組の一環として、水位が上昇した際に、回転灯により周辺住民の避難を促すことや水害リスクを細かく把握することを目的に、当事務所が試験的に開発しているものです。

今後、水害リスクの高い箇所等に対して、試験的に設置を進めていく予定です。

■日時

8月5日(金) 10時15分～(10分程度)

(10時から行われるオープニングセレモニー(洪水到達水位標除幕式)の後、開催予定)

■場所

鎌田記念ホール、水害パネル展 開催会場(大崎市鹿島台)

※8月5日開催行事の詳細及び簡易アラート装置の概要は、別紙のとおり

〈発表記者会〉

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先



国土交通省 北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼80
電話：0225-95-0194(代表)

技術副所長 こんの ひろみ
今野 裕美 (内線205)

調査第一課長 おおさわ しゅういち
大澤 修一 (内線351)

工務第二課長 つちだ あきお
土田 昭夫 (内線321)

「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ

～過去を教訓に、未来の災害に 備え・学び・伝え～



8/5(金)午前10時 オープニングセレモニー(洪水到達水位標除幕式)

とき **8月4日(木)～6日(土)**

会場 **鎌田記念ホール《多目的ホール 他》**

大崎市鹿島台木間塚字福芦335番地1

「昭和61年8月5日洪水」から30年を迎える本年、水害の記憶を風化させることなく、後世に語り継ぎ、地域住民のみならず、防災意識を高めるとともに、治水事業に理解を深めていただくことを目的として、様々な催しを開催するものです。



8/5(金) **基調講演** 11:00～12:00 **入場無料**
(定員300名)

「異常気象と防災」～水害から身を守るために～

藤森 涼子氏 NPO法人気象キャスターネットワーク 代表

最近の異常気象と災害の状況を紹介しながら、どのように防災減災すべきかを考え、今後の防災減災に活かしていきます。



8/4(木)～6(土) 9:00～17:00

パネル展示・ゲリラ豪雨展

8.5洪水当時の水害写真をはじめ、近年起こった豪雨や洪水、ゲリラ豪雨についての写真・資料を展示します。

災害対策車展示

8/5(金) 9:00～16:00 会場 鎌田記念ホール《駐車場》

巡回パネル展 7月～9月

- 会場
- 鹿島台鎌田記念ホール
 - JR鹿島台駅自由通路
 - 大崎市鹿島台総合支所
 - 道の駅おおさと
 - 松島町文化観光交流館
 - 道の駅三本木
 - 大崎合同庁舎
 - 松山公民館

8.5洪水当時の水害写真や9.11関東・東北豪雨に関する写真や資料等のパネル展示、インフラ整備に関する説明パネルにより雨の大変さや怖さを認識し、大切なことは何なのかを考える機会とします。



8/5(金) **親子お天気教室** **同時開催**

14:00～15:30 …NPO法人気象キャスターネットワーク

第一線で活躍する気象キャスターを講師に迎え、気象について体験しながら学び、防災意識を高めます。

※事前申込みが必要です。

●申込み先：大崎市鹿島台総合支所 地域振興課 Tel.0229-56-5520

主催 **国土交通省東北地方整備局・宮城県・大崎市**

後援 **松島町・大郷町** 共催 **(一社)東北地域づくり協会**

20XX 未来
Future

2016 現在
Current

1986 記憶
Memory



「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ ～過去を教訓に、未来の災害に 備え・学び・伝え～

実施目的

吉田川が4箇所破堤し、旧鹿島台町が壊滅的な被害を被った「昭和61年8月5日洪水」から平成28年8月5日で30年を迎えます。

しかし、その危険はインフラの整備及び水害経験者の高齢化などにより薄れゆく傾向にあるとともに、昨今の異常気象による集中豪雨や夏季に限らない爆弾低気圧によるゲリラ豪雨、台風の巨大化による災害など、日本列島は今までに類を見ない災害の形が増加しております。

このような背景の中、平成27年9月11日に起きた関東・東北豪雨をはじめ、洪水・水害の記憶を風化させないこと、つまり、後世に語り継がせる義務を果たすことが最も重要であります。

本イベントは、昭和61年8月5日の洪水・水害の記憶を風化させない、後世に語り継ぐことのほか、地域住民の防災意識を高めることを目的に実施するものです。

プログラム

10:00	オープニングセレモニー（洪水到達水位標除幕式）	※除幕式後、開場
10:30	開会 挨拶	
11:00	基調講演・・・「異常気象と防災」～水害から身を守るために～	
	————— ●NPO法人気象キャスターネットワーク 代表 藤森 涼子 氏	
14:00	親子お天気教室	
	————— ●NPO法人気象キャスターネットワーク NHK仙台放送局 気象キャスター 竹下 愛実 氏 他	
15:30	閉会	

出演者 プロフィール

基調講演

藤森 涼子 RYOKO FUJIMORI

日本テレビキャスター・気象予報士。
特定非営利活動法人「気象キャスターネットワーク」理事長。
平成27年度 国土交通省交通政策審議会 臨時委員

熊本生まれ、父親の転勤で、福岡→香川→広島→大阪→札幌→埼玉→東京と全国各地に住む。大学在学中にTBSテレビのオーディションに合格。気象番組や朝の情報番組の気象キャスターを担当。その後日本テレビに移り、現在は24時間ニュース専門チャンネル「日テレニュース24・デイリープラネット」火～木曜日の気象キャスターを務めている。また、特定非営利活動法人「気象キャスターネットワーク」理事長として環境、防災、気象をテーマに活動をし、特に小学校での出前授業や親子向けイベント、被災地支援などに精力的に取り組んでいる。被災地ボランティアイベントで南三陸町、気仙沼市、東松島市、岩沼市などに訪れた経験あり。好きな言葉は「明日は明日の風が吹く」趣味は社交ダンス、宮古島でのシュノーケリング、花の写真撮影。



親子お天気教室

竹下 愛実 MEGUMI TAKESHITA

NPO法人気象キャスターネットワーク 会員
NHK仙台放送局 気象キャスター

●愛知県出身 ●担当番組：「おはよう宮城」「ひるはび」「ウイークエンド東北」
●趣味・特技：寺や神社でのんびりすること、着物の着付け、料理（和洋中なんでも、パンやお菓子も）●座右の銘：「本当に悪い天気というのはなく、いろんな種類の「いい天気」があるだけ」（イギリスの評論家ジョン・ラスキンの言葉）



●NPO法人 気象キャスターネットワークとは・・・

気象キャスターネットワーク（WCN）は、多くの人々と気象予報士、気象キャスターが一体となって、地球環境問題の解決や気象災害の軽減に関する啓発活動や環境・気象教育、環境イベントを実施しています。

簡易アラート装置の設置

・管内水系の水害リスクが高い箇所を監視するため、センサーネットワーク技術を活用した簡易アラート装置の開発などの水位監視システムの構築



設置イメージ

